

広報あかいけ 特別号

就任のあいさつ



町長 池 永 輝 昭

今回は凶らずも皆様の絶大な御支援により、当選の光栄に浴し町長の重職に就任する事になりました。

ここに本紙を通じて謹んでお礼を申し上げます。

この上は議会の皆様とも緊密なる連絡提携を保ちつつ町政に心根を傾け町民皆様の福祉増進に努力致し、重且大なる職責を全う致したいと存じます。

今後四年間町長として町政を担当させて頂くにあたり決意の一端を申し述べます。

わたしは政治政策の目標を住民の底辺におき職員一同と共に住民要望を積極的に総合点検してみる所存であります。

地方自治を評価して見ますと、どのような地方自治が百点満点なのか模範回答があるわけではありません。

住民福祉を最優先させたサービス、これが行政機関として欠くべからざる必須条件であることに間違はありませぬ。

行政が住民の苦情をきくことが当然の義務だと考えます。

中央政治の手の届かない過疎の谷間の住民に温かい政治の手を差しのべてこそ地方自治体の存在価値があります。

従いまして今後移動役場を設け、住民との対話の場を持ち、いま住民が望んでいるものは何んであるかを引き出してみたいと思います。

福祉行政を総合点検する前向きの行政と、それを見守り積極的な発言をする住民とが巧にからまっていくとき新しい赤池町が生まれ、本物の住

とじて保存しましょう

民サービスがとびだしてくるのではないかと思われます。執行機関と議会との関係をよく車の両輪に例えられませぬ。そのいずれか一方が止つてもまた逆の方向へ進んでもいたづらにエネルギーのみ消耗して前進することは出来ませぬ。

結果を批判することは簡単であります。議会議員の皆様方におかれとも地域住民の最大公約的幸福とは何んであるかを私共と一緒に考えて福祉行政推進の一翼を担って欲しいと思えます。

新しい町長に期待する住民

退任のあいさつ

前町長 木村 繁 太郎



この度任期を二月二十日に終え退任致しましたことあたり、一言御挨拶申し上げます。

私は皆様のお力添えによりまして無事町長の勤を終り退任出来ました事を厚くお礼申

に應えるべく町民要求を政策レベル迄引き上げる積極的な行動こそ私に課せられた重大な任務だと考えます。

この町に政治的実験の可能性がどこ迄あるか、よく本町の事態と将来を見極め、町政の運営に最善の努力を傾けて町民皆様の御期待に添う事こそ私の使命であり責務であると考えております。

今後機会ある度に本紙を通じて基本的施策を述べてまいりたく考えています。何卒皆様方の御指導と御援助を懇願いたして就任のあいさつと致します。

願ひ見ますれば今日まで八年間一時として忘れることなく町政に傾倒して参りました。

誠にこの長年月よくも勤め得ました事を感謝の気持ちで一杯です。

これはひとえに先輩各位、地元出身の代議士田中先生の御指導と、歴代の町議会議員



計量器(はかり)の検査を受けましょう!!

指示はかり、皿はかり、棒はかりなどで商品の取引や証明に使用する「はかり」の定期検査が左記期日行われます。

後日立入検査で適正でない「はかり」を使用しているときは処罰されますから、もれなく検査を受けましょう。

記

四月十四日(金)

午前十時から午後〇時三〇分まで

赤池駅前倉庫

午後一時三〇分から午後四時まで

赤池炭坑マーケット

四月十七日(金)

午前十時から午後〇時三〇分まで

上野農協

午後一時三〇分から午後四時まで

赤池町役場

収入役に

太田氏を再任

このほど臨時町議会が開かれ、前収入役太田達彦氏が議会の同意を得て収入役に就任しました。

院長就任のあいさつ

吉 窪 穂 積

このたび、赤池町立病院の院長に就任することになりました。

私が赤池に着任してから、早や三年目になり、その間内科医長及び副院長を経験し、赤池のことも少しづつ解ってきましたので、お引き受けしました。

医学の面から考えますと、脳動脈硬化症(脳卒中)、冠動脈硬化症(狭心症、心筋梗塞)、気管支喘息、肝炎、肝硬変症、胃潰瘍、胃癌、リュウマチなど非常に多いように思います。

以上挙げました病気は日本医学会の「テーマ」でもありませんし、なかなかの難病でもあります。

古瀬先生、陳先生を初めとし、地元医師会の先生方、大卒や各方面の先生方と協力しまして早期発見早期治療にとめていますが、今後、尚一層の努力をいたす決心であります。

「昔は病気は顔に書いてある」と言われておりました、しかし、その時見つけたので

は遅いのです。昔の医療診断の良い面は残し、且つ新しい検査診断も取り入れて行かねばなりません。

その為には一億二億の金がかかります。私がかねてから望んでいた器械が飯塚病院に設置されるとか聞き心強く思っています。此のように高度の医療器械は、今の医療体系制度のもとでは赤池町立病院では購入できません。国は根本的に考え直さなければならぬ時期にきています。

器械は買い度し、金はなしの状態ですが、苦心を重ねている次第です。

この方面についても、いろいろの角度より働きかけるつもりです。医師のスタッフの面から眺めますと、院長の守谷先生を失い淋しく思っています。先生に御着任していただきまして、外科一人・内科二人で、まだまだ完全ではないところですが、

久留米大学、長崎大学、熊本大学、山口大学などにお願

してはなかなか来ていただけないのが現状です。近い将来少しづつでも理想に近い病院にもっていきたいと思っています。

もう一つ、町民の皆さん方への御願いとしましては、病気になるたら「早目、早目」に診療をうけていただきたいのです。それが早期治療につながります。

又、脳卒中などのように、重症で病院に来院できない時は万難を排しまして往診致しますが、それ以外の場合は病院に来院していただきたいです。

病院には重症の患者さん等多くいますし、その他いろいろの事情もあります。町立病院全般につきましても御意見等がありました折は、私なり事務長なりに言っておさいます。いろいろと努力に努力を重ねる所存です。

以上、町民の皆様方の協力をお願いしまして私の挨拶にかえさせていただきます。



◆お 礼◆

一、金一封 堀川チエ子殿

亡夫秀明殿 香典返しとし

一、金一封 有永香殿

亡夫義人殿 香典返しとし

一、金一封 杉原サダ殿

亡夫仁一郎殿 香典返しとし

一、金一封 永末俊明殿

亡母マサエ殿 香典返しとし

一、金一封 池田鉄蔵殿

亡妻キルヨ殿香典返しとし

それぞれ香典返しとして赤池町民生事業助成会へ寄附されました。

住民皆さんからいただいた寄附金は、長期療養している病人に見舞金として贈ったり不時の災害に会った人への見舞金、又、身寄りのない人の葬儀資金にあてたり、このように福祉事業に使っています。年間を通じ約三十人の方からご寄附をいただいております。厚くお礼申しあげます。

老人クラブの使命

老人クラブ会長 藤井良太郎

昔はどこへいっても田舎ではいろいろ火がもえていて自在かきには茶釜がつるされていた。そこにはおじいちゃんやの座おばあちゃんの座があり、その間に孫たちが顔を出していた。そして「むかしむかしあったとき」おじいちゃんやの昔ばなしに孫たちは目をまるくしてきいた。しかし今はどうであらうか。

田舎でもいろいろがとりのぞかれ、年寄の座も失われてしまったとはいえず今もなお昔ながらに年よりの座が保たれ孫と一つにとけあつた幸せな人もあるでしょうが、多くの家ではたとえ家族と同居しても心が疎開され、ましてや団地がふえ核家族化にせめかされ年よりの座の淋しさは、たえられないものがあるだろう。

年よりには年よりだけしかわからない世界がある、年よりは年より同志で話しあいの場をもとうではないか。ここに老人クラブの生れてきた所

がある。よろこびもかなしみもわかちあう。そうではないと、さびしくて生きるのぞみを失われていく。こんななじみぬ姿がどこにあらうせめて月に一回ぐらいなりと、話しあいの場をもちたいものである。

わたしはよくしてくれる子どもも孫もいる、幸せであるからクラブにはいる必要はない」といって入会を断る人がいるが、こうした幸せな人こそ入会して孤独な老人や、寝たきりの年よりの泣いている気のどくな人たちへ、やさしく慰めたわりの手をさし

のべてほしいものである。どんなに平均寿命が永くなくても遅かれ早かれ皆死はまぬがれない。今からでもよい

思いついたら一つでも世のため人のためにつくしてよろこばれて死んでいきたい。十却

(じっこう)の昔から「吾」汝一人を救わんというみ仏の

声をききつつ、残り少い人生をお互い生きていきたいものである。

よき人の仰をききてよきこととまねごととなりとして死に

なむ